

会員限定

2016年12月度
金融システム研究会
2016年12月13日(火)

ネット銀行から見る FinTechとその取り組みについて

講師: 吉本 憲文

住信SBIネット銀行 株式会社 マーケティング部長 兼 FinTech事業企画部長

 金財情報システム「金融システム研究会」事務局

CONTENTS

ネット銀行から見る FinTech とその取り組みについて

目次

Slide2 目次	4
1. はじめに	6
Slide3 自己紹介	6
Slide4 会社概要	6
Slide5 現在口座をお持ちの方	8
Slide6 預かり預金総額	8
Slide7 住宅ローンに強み	10
2. 「FinTech」に起きていること	10
Slide9 海外 FinTech 企業は 1000 社を超える	12
Slide10 FinTech といえば	12
Slide11 他業界におけるアンバンドリング化	14
Slide12 FinTech の背景にある 4 つの変化	14
Slide13 顧客の変化	16
Slide14 サービス提供者の変化	16
Slide15 銀行業界の変化	18
Slide16 国（法制度）の変化	18
Slide17 FinTech の背景にある 4 つの変化	20
Slide18 「FinTech」に起きていること	20
3. ネット銀行から見る FinTech	22
Slide20 Fintech は銀行にとって 起爆剤にも劇薬にもなり得る	22
Slide21 米国 FinTech との違い	24
Slide22 ネット銀行から見る FinTech FinTech を活用して Bank3.0 時代へ	24
4. 住信 SBI ネット銀行の取り組み事例	26
Slide24 当社の FinTech への取組みのきっかけ ～株式会社マネーフォワードと業務提携～	26

Slide25	当社の FinTech に関する取組み	28
事例 1：マネーフォワードとの取組み		
Slide27	個人のお客さま向けに PFM サービスをリリース	30
Slide28	アプリ提供の意義	30
Slide29	銀行機能接続 API の公開	32
Slide30	API 接続自体は新しい技術ではない	32
Slide31	サービス連携がユーザー体験をより豊かにする	34
Slide32	画面イメージ	34
Slide33	API 公開に関するお客さまの反響	36
Slide34	マネーフォワード社へ提供している API 概要	36
Slide35	大きな誤解「API 公開＝セキュリティ不安」	38
Slide36	API 公式接続の意義 ～マネーフォワード社との接続を例に～	38
Slide37	海外における銀行 API 公開の流れ	40
Slide38	Open Banking Standard について	40
Slide39	EU「PSD 2」における XS2A	42
Slide40	EU「PSD 2」マイルストーン	42
Slide41	オープンバンキング API に関する 国を挙げた検討の動き	44
事例 2：ブロックチェーン		
Slide43	「ブロックチェーンとは」1	46
Slide44	「ブロックチェーンとは」2	46
Slide45	「ブロックチェーンとは」3	48
Slide46	ブロックチェーンの活用領域	48
Slide47	ブロックチェーン技術の利活用に向けた実証実験	50
Slide48	費用対効果検証	50
Slide49	SBI グループ全体でブロックチェーンを推進	52
Slide50	ブロックチェーン技術等を活用した国内外為替 一元化検討に関するコンソーシアムへの参加について	52
5. まとめ		
Slide52	FinTech により Bank3.0 の早期実現へ	54
◆質疑応答		
		56

ネット銀行から見る FinTech と その取り組みについて

皆さんこんにちは。住信 SBI ネット銀行の吉本と申します。今日はどうぞよろしくお願ひいたします。

それでは話を始めさせていただきます。

お手元の資料と、投影の内容が一部異なる場合がございます。一部白紙のスライドがございますが、前方のスクリーンをご覧くださいながらお話しさせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

Slide2 目次

今日、お話しした内容といたしましては、たとえば日本銀行さんの「IT を活用した金融の高度化の推進に向けたワークショップ」で当社からお話しした内容や、経済同友会の金融ワーキンググループでお話しした内容をマージし、ご紹介させていただく構成になっております。もし両方出られていると、単純に足しているだけなので、今日は多少つまらない話になってしまうかもしれませんが、どちらかにしか出ていない方、ないしはどちらにも出ていない方には新しい話もあるかと思ひますので、よろしくお願ひいたします。



ネット銀行から見るFinTechと その取り組みについて

2016年12月13日
住信SBIネット銀行

Slide 2

目次



1. はじめに

2. 「FinTech」に起きていること

3. ネット銀行から見るFinTech

4. 住信SBIネット銀行の取組事例

事例1：マネーフォワードとの取組み

事例2：ブロックチェーン

5. まとめ

1. はじめに

Slide3 自己紹介

まず最初に「自己紹介」ということで、私はこの銀行に入りまして今1年10カ月目でございます。住信SBIネット銀行を堂々と語るには社歴が浅いですが、マーケティング部門とFinTech、ならびに新規事業の企画部門を担当させていただいております。

外部委員といたしましては、FinTechと名が付く会合に数多く出させていただいております。最近ですと12月8日に金融審議会でもいろいろ話題になりました中間的事業者の検討やオープンAPIの議論を受けて、全国銀行協会さんのAPI検討会で委員をさせていただいたり、さらにそのセキュリティ分野における派生としてFISCさんのFinTechに関する有識者検討会合など、とくに今月は幅広く活動をやらせていただいております。

この会社に入るまでの社歴では、最初の会社では金融情報サービスサイトのプロデューサー、次の会社は株のアルゴリズムトレードのベンチャー、3社目では、おもに証券系の新規事業企画ということで、金融関連の仕事をさせていただいております。

Slide4 会社概要

話の中身に入る前に、住信SBIネット銀行って何？とおっしゃる方も結構いらっしゃいますので、少しだけ会社のご紹介をさせていただければと思います。

よく皆さんから、SBI色の強い会社と言われるのですが、三井住友信託銀行とSBIホールディングスとの50%・50%のジョイントベンチャーです。よって、SBIグループからの依頼であっても、もう一方の三井住友信託銀行側がノーであれば拒否できるということで、SBIグループとは一線を画した独立意思決定機関として自立した経営をやっている会社で、設立でちょうど10年という会社になります。

社員数は400人ちょっとでございます。

自己紹介



3

会社概要



- 会社名： 住信SBIネット銀行株式会社
(英名：SBI Sumishin Net Bank, L t d.)
- 代表者： 代表取締役会長 藤田 万之葉
代表取締役社長 円山 法昭
- 本社： 東京都港区六本木1丁目6番1号 泉ガーデンタワー18階
- 資本金： 310億円
- 営業開始日： 2007年9月24日
- 従業員数： 405名 (執行役員、受入出向者は含み、派遣社員は除く 2016年3月末時点)
- 株主構成： SBIホールディングス株式会社 50%
三井住友信託銀行株式会社 50%
- 銀行代理業者：株式会社SBI証券、SBIマネープラザ株式会社、
アルヒ株式会社

4

Slide5 現在口座をお持ちの方

Slide6 預かり預金総額

現在口座をお持ちの方がこれぐらい (Slide5) ということと、(Slide6) こちらの数字は預かり預金総額です。お客さまの増加に伴い開業来右肩上がりが増えてきていましたが、今年の2月からはマイナス金利という特殊環境下になったために微妙なチューニングをしているというのが実態でございます。なので、当社の預かり残高、公表数字、IR等を眺めていただくと右肩上がり今年2月から平らになっていると思いますが、これは成長が止まったというわけではなく、マイナス金利の影響により、敢えてこれぐらいの預金残高を維持しているというような状態でございます。

Slide 5



268万口座

※2016年9月末時点

5

Slide 6



3兆6,248億円

※2016年9月末時点

6

Slide7 住宅ローンに強み

いまでは当たり前のようになりつつありますが、ネットで住宅ローンを販売するというのは、開業当初は意外と言われていました。現在、実行金額は、3兆2,000億円を突破しておりまして、こういった分野に強みのある銀行とさせていただければと思います。

2.「FinTech」に起きていること

ここからはFinTech、およびネット銀行から見るFinTechとその取り組み事例についてご案内させていただきたいと思います。